

小西ひろゆき

ともに生きる社会を 

平素より温かいご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

株価がバブル以降最高値を更新しましたが、実質賃金低下など厳しい生活の声を頂いています。一方で、米株価はこの間10倍超の上昇、賃金格差も2倍に至ろうとしています。「失われた30年」の課題解決のため全力を尽くします。 参議院議員 小西洋之

上映会募集中
※お問合せは
小西事務所まで

「テレビでは絶対放送できない」田原総一郎インタビュー-第2弾
田原総一郎 × 小西洋之

言論の自由と、国民の知る権利が
消される放送法問題

「知らないこととか、
ヤバイこと。」

主様の耳は、ロバの耳

テレビ、沈黙。 放送不可能。II

ジャーナリスト、田原総一郎がよせばいいのにさらに掘り下げてしまった真実
テレビでは「絶対に放送不可能」なドキュメンタリー

出演：田原総一郎 / 小西洋之

予算委員会質疑3/6 (自民派閥裏金パーティー事件)

衆院での予算審議は、「岸田総理の政倫審出席」という奇策の後に強行された異例の土曜日採決(3/2)で終了しました。裏金への関与がない岸田総理は「疑惑弁明の場である政倫審」に出席する法的根拠もなく、野党は突き放すべきを、岸田総理の政権維持の執念に野党が浮き足立ってしまったことは否めません。

こうした状況下で、疑惑の本質を強力に追及し、参院で政治戦の流れを変え、国民を救う政治改革を実現するという戦略方針で再度予算委に登板しました。



まず、①安倍派裏金がいつから何の目的で始まり、②誰が22年8月以降の再開を決め、そして、③裏金が議員個人に提供されたのか(=犯罪と脱税問題)、政治団体に提供されたのかを、岸田総理自身が森元総理と派閥幹部に確認するよう質問通告しました。しかし、岸田総理は「これらの事実関係の確認をしたのか」という質問にも5回連続で答弁拒否をする有り様で、「線香花火のような火の玉の決意」と批判しました。

次に、自民党が裏金議員に行ったアンケート(2/13公表)と聴き取り調査(2/15公表)が、その設問が「収支報告書の記載漏れの有無」を確認するものしかない、すなわち、最初から議員個人ではなく政治団体へ

の資金提供と決め打ちし、裏金の受領犯罪と脱税問題が生じないようにしている「脱税隠ぺい調査」であることを初めて明らかにしました。そして、岸田総理にこれらの設問を事前了承していたことを答弁させ、2/16からの確定申告のど真ん中で岸田総理主導の国民を欺く脱税の隠ぺいが行われていることを追及しました。

また、自民党の聴き取り調査を分析し、数十名の議員が、①個人資金として受領していたことを自白する、②「計上方法について秘書から相談があった」など収支報告書の虚偽記入罪の共同正犯の疑惑を自白する供述をしていることを初めて指摘しました。

そして、これら派閥幹部の疑惑、多数の議員の犯罪と脱税の疑惑の全容解明と説明責任を果たすため、3/15の確定申告の期限までに岸田総理が参院政倫審に規則に則って「参考人」として出席すること求めましたが、岸田総理は必死に出席を拒否しました。

最後に、岸田総理に対し、1994年政治改革からの「失われた30年」の元凶である自民党派閥政治の三つの弊害「利権、人事、世襲」を根絶するために、政治資金規正法改正による派閥パーティーの禁止、政党助成法改正による人事規律と議員訓練システムの導入、世襲禁止の決意を迫りましたが、岸田総理は全て拒否し、派閥政治の継続の偽装改革が明らかになりました。



「自民党裏金・脱税を許さない市民団体」との連携



自民党の裏金受領と脱税の犯罪を検察庁に告発していた市民団体の皆さんと弁護士の先生方が、1月29日の私の予算委質疑を見て、国税庁への新たな告発のアドバイスのために訪問

して下さいました。私からは、2,057万円の裏金を「政策活動費」で受領し使用していたと会見している議員など「個人の資金提供」と自白している議員が複数名いることなどを説明しました。

その後、3月7日に国税庁に告発が行われましたが、多数報道されていました。引き続き、連携をします。

外交防衛委員会 視察

野党筆頭理事を務める外交防衛委員会で、2月19、20日の日程で、自衛隊の南西諸島対応などの視察で長崎、佐賀県に赴きました。

長崎県の佐世保港は在日米軍と自衛隊の基地がありますが、水域面積の8割以上は米軍の管理下にあります。この米海軍第七艦隊に所属する佐世保基地は



艦内視察をした輸送揚陸艦「ニューオーリンズ」

(続き) 他方、現政権下でも自衛隊と米軍の一体化は次元を超えて進んでいます。島嶼奪回作戦などを担う陸自の「水陸機動団の戦闘上陸大隊」は佐世保基地の近郊に設置され、有事の際には米軍の強襲揚陸艦にも乗船します。

水陸両用車AAV7に試乗した際には、「この車両に自衛官を搭乗させて出動させることが絶対に生じないように、平和創造と紛争回避に全力を尽くすことが国会議員の最大使命であり、責務である」と深く身をもって痛感いたしました。



水陸両用車AAV7の試乗

などの上陸作戦部隊の輸送等)の唯一の母港であり、かつ、最大の弾薬庫、燃料庫を有しています。

要するに、米海軍佐世保基地がなければ、米国はアジア太平洋域で十分な軍事的プレゼンスを保持できなくなります。私が総理に「日米安保は米国にとっても世界最重要の同盟関係」と答弁させている根拠の一つが佐世保にあります。(他に横須賀海軍基地など)他方、これは米軍の台湾海峡有事などで佐世保が攻撃対象になることを意味します。海上自衛隊総監と米海軍司令官へのヒアリングでは弾道ミサイル等からのPAC3による防御体制は未整備とのことでした。

こうした「対等な双務条約」、「日本攻撃のリスク」という日米同盟の本質に基づく対米外交が必須であり、政権奪取の際の対米交渉に向け研鑽を積んで参ります。

チャイルドライン議連の開催(2/29)

いじめやDV、不登校などにある子供たちの声を聞き取るチャイルドライン(認定NPO)と連携する超党派議連(自民党 野田聖子会長)の事務局長として、こどもの権利条約の子供の意見表明権に基づく子供たちの「聴かれる権利」の実現の課題について、関係省庁と議論しました。



出前こにたん

日常生活の中でのお困りごとや御意見などをぜひお寄せ下さい。暮らしや職場、役所の対応など、どのようなものでも結構です。常に、市民の皆さんから直接に生活や現場の課題を伺い、それを解決するための政策を立案し、政府等を動かすのが国会議員の役割です。

また、勉強会の講師などもお気軽にお声掛け下さい。



3/2 千葉県連大会での代理代表挨拶

【ご寄付のお願い】

小西洋之の「活力ある共生社会を創る」「民主主義と法の支配を守る」ための信念に基づく政治活動をお支え下さい。皆様の善意を頼りに少額のご寄付が大きな支えとなっております。宜しくお願いたします。

※ ご寄付の方法はHPIに掲載しております！



小西ひろゆき プロフィール

- 1972年生まれ
- 東京大学教養学部 卒業
- コロンビア大学 国際公共政策大学院修了
- 総務省・経産省 課長補佐
- 東京大学 医療政策人材養成講座 修了

これまでの主な役職

- 沖縄及び北方問題に関する特別委員長
- 予算委員会 筆頭理事
- 外交防衛委員会 筆頭理事
- 弾劾裁判所裁判員



NPOより三ツ星議員に選出(2019.11/2023..2)